



2027年3月期以降の事業計画及び成長可能性に関する事項

株式会社イオレ

(東証グロース市場、証券コード:2334)

2026年5月15日

The logo for eole Inc. is displayed in white text on a vibrant green background. The background is filled with faint, stylized icons representing various business and technology concepts, such as a cloud, a globe, a person, a laptop, and a network of lines. The text 'eole Inc.' is centered and rendered in a clean, sans-serif font.

eole Inc.

目次

1. 会社概要
2. 2027年3月期以降の戦略と事業計画
3. 財務計画と目標
4. 事業リスク及び経営基盤の強化
5. Appendix: 事業毎のアップデート・組織運営におけるトピックの掲載

The background features a light gray isometric cityscape with various skyscrapers. Overlaid on this are several white digital icons: Wi-Fi symbols, a padlock, a gear, a globe, and a cloud. Dotted lines and arrows connect these icons to the buildings, suggesting a networked or smart city environment.

1 | 会社概要

会社概要

会社名	株式会社イオレ		
設 立	2001年4月25日	上場市場	東京証券取引所グロース市場（証券コード：2334）
		所在地	本社 〒105-0003 東京都港区西新橋1-6-11 西新橋光和ビル4F
資本金	27億6,295万円 ※2026年3月31日時点	電 話	050-5799-9400（代表）
従業員	78名 ※2026年3月31日時点		
役 員	代表取締役社長 兼 CEO 瀧野 諭吾	事業内容	・ AIデータセンター事業 - GPUサーバ販売 - AIデータセンター開発支援・投資 ・ AIUI事業 - HR Tech - Ad Tech - 次世代AIメディア など ・ 暗号資産金融事業 - 暗号資産の保有、運用、決済サービス等の金融基盤提供
	取締役会長 吉田 直人 取締役CFO 兼 執行役員 貞方 渉 取締役CSO 兼 執行役員 渡邊 孝行 社外取締役 天野 晃 社外取締役 高桑 昌也 監査役 田村 謙治 監査役 大山 亨 監査役 塩川 泰子 上級執行役員COO 神谷 勇樹 上級執行役員CTO兼CAIO 高木 悠造 執行役員 高木 盛至 執行役員 阿部 隼太郎 執行役員 岩崎 康志		
		取引銀行	みずほ銀行 三井住友銀行 りそな銀行 きらぼし銀行

専門性と豊富な経営経験と実績を有する経営体制

暗号資産領域で事業立ち上げ・
経営経験・実績を有するメンバー

- 暗号資産を活用した上場企業のグ
ロース経験
- 暗号資産事業を主とする起業経験



取締役会長
吉田 直人



社外取締役
高桑 昌也

AI領域で事業立ち上げ・経営経験
・実績を有するメンバー

- 大手上場AI企業における立ち上げ/
グロース経験
- AI / データ領域における起業 / イグ
ジット経験



代表取締役社長兼CEO上級執行役員COO
瀧野 諭吾



神谷 勇樹



取締役兼CSO
渡邊 孝行



上級執行役員CTO
高木 悠造

投資・ファイナンス領域で豊富な経
営経験・実績を有するメンバー

- VCでの未上場企業への投資経験
- 事業会社での資金調達・M&A経験



社外取締役
天野 晃



取締役執行役員
CFO 貞方 渉

新体制発足後の主な実績

暗号資産金融事業、AIデータセ
ンター(AIDC)事業への参入

AIDC事業では参入から1年で
100億円超(26.3期)の売上を達成

既存事業においては選択と集中
を推進し、事業ポートフォリオ
の再構築が完了

社内でのAI/DX化を推進し、生
産性を1.5倍へ

2026年3月期終了時点の事業一覧

2026年3月期では、戦線拡大していたポートフォリオの整理を行い、目指す価値の明確化と事業集約・体制再編を実施。

AI UI事業（既存事業）

WEB・SNS広告配信	
広告代理運用	求人検索エンジン広告運用
採用支援システム	
運用型求人広告プラットフォーム	
ペット事業	休日いぬ部 kyūzitsu-inubu 休日グランピング部

AIデータセンター事業

推論向けGPUサーバー販売事業

GPUサーバー販売	ハイスペックGPUサーバーの販売
-----------	------------------

暗号資産金融事業

暗号資産の調達と運用

暗号資産トレジャリー (DAT)	2025年10月よりBTCの買付及び保有開始
暗号資産レンディング (DAL)	2026年1月28日 らくらくちょコイン提供開始 
暗号資産運 (DAM)	2025年12月よりBTC運用開始

An isometric illustration of a cityscape with various buildings. Overlaid on the city are several digital and network-related icons: Wi-Fi symbols, a globe, a padlock, gears, and a cloud. Dotted lines and arrows connect these icons to different parts of the city, suggesting a networked or smart city environment.

2

2027年3月期以降の 戦略と事業計画

AIDC事業の垂直立ち上げが牽引、 収益拡大期へ突入。

2027年3月期は、2026年3月期に参入1年で100億円超を達成したAIDC事業を主軸に、
連結売上+80%・営業利益+468%の大幅成長を計画。

3層統合モデルの基盤を並行して構築する。

100億円超

2026年3月期
AIDC事業売上着地
参入1年で垂直立ち上げ

+80%

2027年3月期
売上成長率見通し
連結売上255.5億円計画

+468%

2027年3月期
営業利益成長率見通し
11.4億円計画、収益拡大期へ

3層統合モデルー AI経済圏形成に向けた構造変化

AIの普及に伴い、計算（インフラ）・接点（インターフェース）・価値交換（金融）の連携の重要性を増している。3層を横断した事業基盤を構築し、中長期的な競争優位の形成を目指す。



3層連携による構造優位

AI経済活動の増幅

推論需要の成長×オンチェーン金融
推論インフラの拡大に伴い、AIサービス・AIエージェントの活動数と相互取引が増加。オンチェーン金融基盤との統合により、AI活動の増幅を加速。

資本循環

インフラ投資と金融レイヤーの連携
AIDC事業における設備投資と、金融レイヤーを組み合わせることで、成長投資・運用・流動性を統合した資本効率の最適化を目指す。

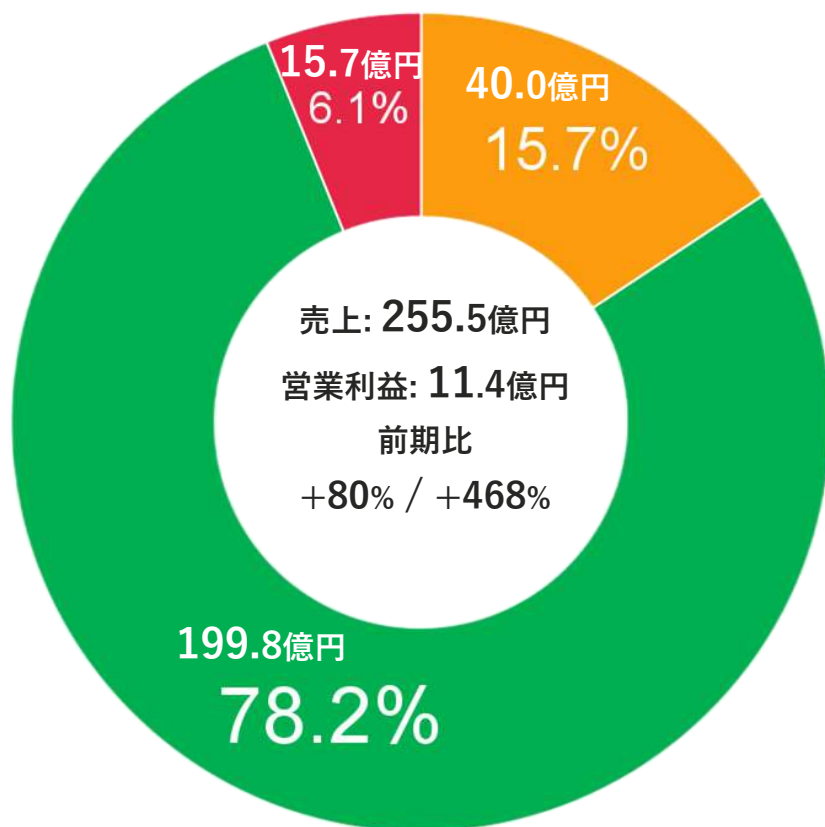
経済圏の自己増殖

3層の循環がさらなる成長を生む
金融が計算資源を増やし、AI実装が金融を増幅し、計算資源がAI実装機会をドライブする。3層を循環的に運営することで、各レイヤーの成長が他レイヤーの成長を加速させる自己増殖的なエコシステムを構築。

2027年3月期見通し

引き続き、AIDC事業の垂直立ち上がりを加速しつつ、AIUI事業はAI活用による収益性改善で安定したキャッシュ創出を担い、金融レイヤーは法整備対応と並行して基盤構築を進める。

3層統合モデルとしての本格的なシナジー創出は2028年3月期以降を見据え、2027年3月期は各層の独立した立ち上げと、その後の統合に向けた基盤整備を本格化させる。



各レイヤーの戦略的役割

AI実装レイヤー (AIUI事業)

収益性改善→高効率なキャッシュ創出と
AI稼働領域・機会の拡大

AIインフラレイヤー (AIDC事業)

成長収益基盤としての成長拡大と
分散推論基盤・AIDC開発加速

金融レイヤー (Neo Crypto Bank)

オンチェーン金融・
AIネイティブ金融基盤の形成

AI経済圏形成に向けた2027年3月期の重点施策

2027年3月期は、P8-P10で示した数値計画をAIUI・AIDC・NCBCの実装施策で計画達成しつつ、**計画外のアドオン施策（DC開発拡大、低PUE*、GPUオーナー金融接続等）を並行推進**。2028年3月期以降の3層統合シナジー本格化に向けた基盤を完成させる。

① AIDC開発加速

DC開発会社との連携により分散型AIDCの開発を加速 **アドオン**

- モジュール型DCの並列開発
- 全国分散型AIDCネットワークの構築開始
- 電力確保・立地開発のスピードアップ

② 次世代冷却ソリューション

次世代液浸冷却により低PUEを実現し、計算力拡大を加速 **アドオン**

- 次世代冷却ソリューション導入/提供開始
- 低PUE（目標1.2以下）への取り組み
- より高密度なAIDC環境の実現

AI経済圏形成

AI利用・計算・金融を接続し、AI稼働領域を拡大

③ AIサービス実装拡張

AIネイティブな事業の開発やPF事業者間連携により、AI活動領域・経済活動機会を拡大

- 既存サービスのAI化・体験最適化
- AIエージェント/AIネイティブ事業開発加速
- 外部AI事業者との連携開始 **アドオン**
- AIソリューションの外部提供・拡張 **アドオン**

④ 金融基盤の段階的拡張

DAT（トレジャリー）継続
DAL（レンディング）基盤整備

- 事業継続し、資本効率・リスク管理を重視
- 市況に基づき、投資規模・構成を柔軟に調整
- 制度整備と市況を踏まえ段階的に拡大
- ライセンス導入に向け、要件・体制を精査

DAM, DAU（運用・決済）開発

- Gaia, Slash Card, Upbond連携による推進
- エージェンティック決済は中期で検討

GPUサーバー販売事業接続 **アドオン**

- GPU運用益と金融基盤の接続の検討・開発

期待する効果

推論需要の拡大

推論・サービス利用の拡大により、AIDC稼働と収益性を向上

資本効率の向上

DAT・レンディング事業に加え、GPUサーバー販売事業と金融事業を接続し資本効率を高め投資規模拡大を加速

事業間接続の強化

AI実装・計算基盤・金融基盤の連携で、継続的な競争優位獲得・拡大を狙う

* PUE（Power Usage Effectiveness）：データセンターの電力効率を示す指標。IT機器電力1に対する施設総電力の比率で、1.0に近いほど効率的。AIDCの運営コストは電力費が大半を占めるため、PUE低下は利用者獲得・収益性を左右する最重要ファクター。世界平均1.56・国内一般水準1.7前後に対し、最新液浸技術の活用により**1.2以下**を当社目標に設定する。

AI実装レイヤーの拡張戦略

AI社会実装の拡張を通じ、AI稼働領域と経済活動機会を拡大

自社推論インフラとの連動により、AI実装のコスト構造で構造的優位を確立。既存事業のAI化による収益性改善を進めつつ、外部AI事業者との連携によりAIネイティブな経済活動の接点を構築。

強み（競争優位の源泉）

推論GPU/AIDC

AIDC事業との連動により、推論コストを抑えてAI実装を加速

社会接点・顧客基盤

既存顧客基盤を起点としたAI社会実装の展開力

AI社会実装の実証実績

AdOLE.ai、Pinpoint tAlpe等 収益化されたAI実装実績（応募数1.5x、CVR 5.0x等）

重点施策

（計画数値に含まれる主な施策）

既存サービスのAI化・体験最適化 AIネイティブ事業開発

2026年3月期から進行している既存事業の改善・再成長の継続

アドオン要素

（計画数値外）

外部AI事業者との販売・流通連携

外部Sler・生成AI事業者との協業を通じ、自社AI導入成功例に基づいた事業を準備中

GPUサーバー販売事業を通じて獲得した 計算資源を用いた新規事業開発

提供開始決定次第、開示予定

AI稼働領域の拡大イメージ例

求人マッチング （点の最適化）

応募数1.5x
CVR 5.0x

候補者対話・選考 （プロセスのAI化）

選考工数↓
採用精度↑

キャリア伴走 （継続接点のAI化）

リテンション↑
LTV↑

AIインフラレイヤーの拡張戦略

世界的な推論需要急拡大を捉え、日本全国に分散型AIDCを展開

2026年3月期にGPUサーバー販売事業を開始し、推論需要拡大を受けて事業が垂直成長開始。
2026年末に竣工予定の福島双葉町AIDCのプロジェクト参加経験を経て、分散型AIDCの全国展開とAIDC向け高付加価値ソリューションの展開開始が可能になったため、**DC開発/DC向けソリューション展開においても自社展開を始めること**で更なる事業拡大を目指す。

成長ドライバー

推論需要の爆発的拡大

生成AIの普及・進化により、推論処理需要が当面の間継続拡大。

供給不足の構造

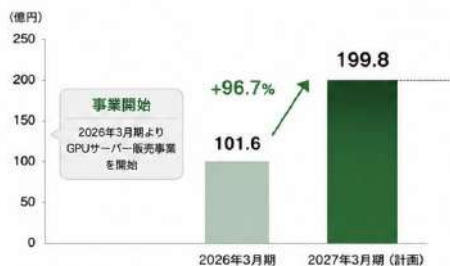
推論向けGPU供給は慢性的に不足、設置のためのDC建設にも一定の時間を要する状況。

当社の優位性

昨期に1年で100億円規模事業を立ち上げた実行力。分散型AIDCのスピード構築・低PUE/高密度運用実現に向けた業務提携を準備中。

サーバー販売事業計画値

2026年3月期頭に事業開始、成長ペースの維持・拡大



設置済み・AI推論向けに運用可能なGPU規模が既に5,000枚に到達
(※国内シェア10%前後予想・当社推計)

アドオン要素 (計画数値外)

DC開発会社との連携により分散型AIDCの開発を拡大・加速

資本参画を公表している福島・薩摩川内DCに加え、プロジェクト参加経験に基づいた自社主導AIDC開発プロジェクトを複数準備中。AI先進国レベルのDC開業スピードを目指す。

次世代液浸冷却により低PUEを実現し、計算力拡大を加速

次世代冷却技術であるAI推論サーバー向け液浸技術を提携企業協力のもと試験準備中。関連DCへの導入に留まらず、AIDC向けソリューションとして市場投入を進める。

金融レイヤーの拡張戦略

保有資産の運用基盤を起点に、オンチェーン金融への段階的拡張

DAT・レンディング資産の運用拡大とパートナー連携を通じた運用パフォーマンス向上により、2027年3月期売上は1,568百万円を計画。

法制度整備（暗号資産の金商法移行、ステーブルコインの実用化）と並行して事業基盤を精緻化し、3層統合シナジー本格化は2028年3月期以降を見据える。

運用規模（保有資産基盤）

DATによるBTC保有拡大

ワラント発行による計画的な積み上げ（現在保有: 168.5BTC）
※評価額は市場価格により変動

レンディング借入残高300BTC超

暗号資産レンディング事業の安定運用継続・受入コインの拡大

運用パフォーマンス向上

JCAM連携の強化

レンディング運用における協力関係強化と運用効率・リスク管理の高度化

Gaia連携の強化

共同開発体制での運用利回り向上の取り組み

※2027年3期売上 1,568百万円の達成ドライバー

法整備対応に向けた体制強化

暗号資産の金商法移行への対応・レンディング事業のライセンス取得検討

内容に基づく精査・準備

ステーブルコインの事業活用に向けた対応・準備

金融レイヤー実行体制の強化

オンチェーン金融 / NCBCの実装拡張

Slash Card：暗号資産連動の決済プロダクト連携

Upbond：ウォレット・認証基盤との連携

円建ステーブルコイン等の決済/運用基盤としての活用
→ DAU（決済）/AIネイティブ金融基盤の段階的構築

将来の拡張領域（スケジュール精査中）

エージェントック決済

AIエージェント間の自律的価値交換への対応検討

GPUサーバー販売事業との接続準備

GPUサーバー運用委託報酬の活用

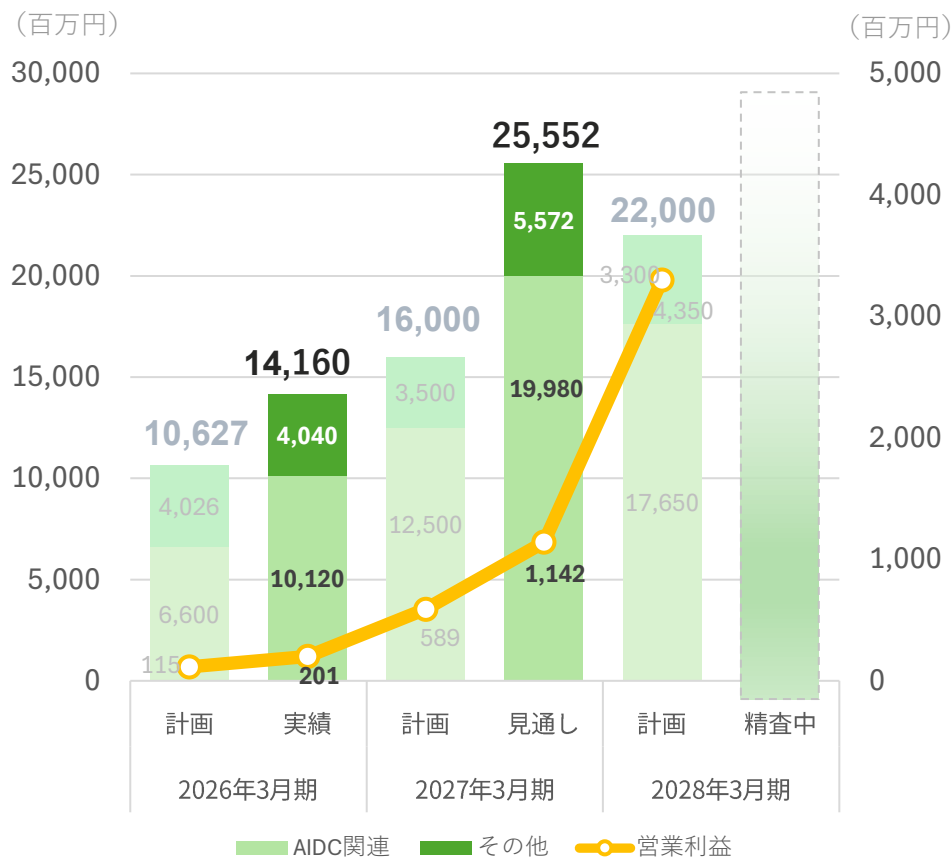
※いずれも構想・準備段階、計画数値外

An isometric illustration of a cityscape with various skyscrapers. Overlaid on the city are several digital and network-related icons: Wi-Fi symbols, a globe, a padlock, gears, and a cloud. Dotted lines and arrows connect these icons to different buildings, suggesting a networked or smart city environment.

3 | 財務計画と目標

中期経営計画サマリー（計画進捗）

1年目は計画を上振れし、2年目も3年目を前倒しで計画を上振れする見通しであり、中期経営計画としては着実に進捗。



2026年3月期実績

- 1 既存事業の選択と集中を推進し事業ポートフォリオの整理が完了
- 2 AI DC事業の売上高が急速に拡大し、当初計画を53%上振れして着地

2027年3月期の見通し（アップデート）

- 1 AIを活用した新サービスの立ち上がりに加え、不採算事業の整理に伴い売上増とコスト減を実現し収益拡大
- 2 AI DC事業の通期寄与と、広告強化による直販営業増加による粗利拡大
- 3 暗号資産金融事業は、26年2月に開始したレンディングサービス「らくらくちょコイン」及び自己保有暗号資産の運用が本格化

※ 最終年度2028年3月期の数字については、現時点では計画を据え置き
 (次回の本資料のアップデート版の適時開示は2027年5月を予定も、計画等の変更・修正あれば前倒しで行います)

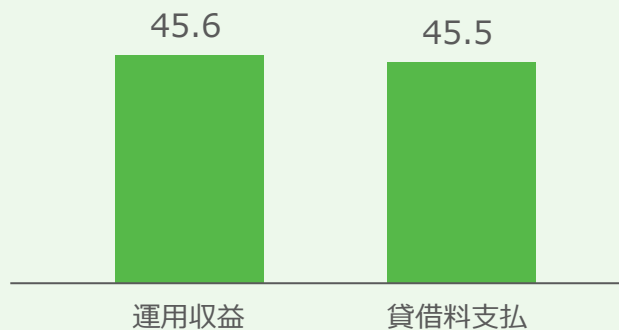
これまでの実績と進捗

2026年3月期の実績 前回からのアップデート

マーケットが乱高下する中、レンディング事業運用収益が貸借料支払を超過

通期実績

単位：百万円



その他のトピック

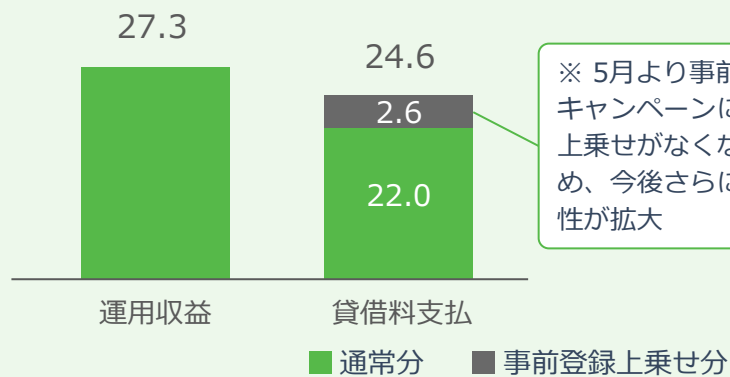
- 出資先であるGaia社とAI運用アルゴリズムの開発に着手

2027年4月期の進捗 4月単月実績

運用収益率が順調に拡大中

2027年4月 単月実績

単位：百万円



※ 5月より事前登録キャンペーンによる上乗せがなくなるため、今後さらに収益性が拡大

その他のトピック

- 出資先であるSlash社がカード発行開始

来期の見通し

中期経営計画サマリー（計画進捗）のとおり、既存事業の収益構造良化及び新規事業（AIDC事業と暗号資産金融事業）の通期収益貢献等を要因に増収・増益を見込む。

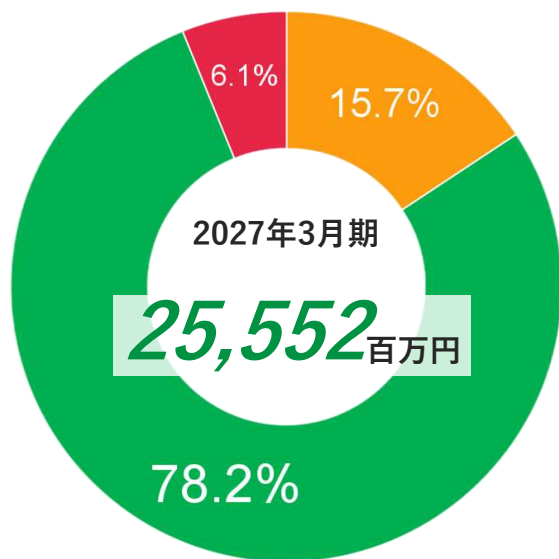
(単位はEPS以外百万円、EPSのみ円/株)	2026年3月期 実績 (連結)	2027年3月期 業績予想 (連結)	前期比
売上高	14,160	25,552	180%
AI UI事業 (既存事業)	3,688	4,003	109%
AIデータセンター事業	10,120	19,980	197%
暗号資産金融事業	45	1,568	3,484%
その他	306	-	-
営業利益	201	1,142	568%
経常利益	△496	1,494	—
親会社株主に帰属する当期純利益	△518	1,270	—
EPS	△14.99	30.96	—
調整後経常利益	201	1,142	568%
調整後親会社株主に帰属する当期純利益	154	970	629%
調整後EPS	3.88	23.64	629%

※ EPSは2026年5月12日時点の発行済株式数での前提

2027年3月期事業別業績予想

2027年3月期の計画済み売上予想は以下の通り。P11に掲載している各アドオン重点施策による2027年3月期業績への影響は、**現時点の概算で数十億円規模の売上増となる見込み**。

※上記の影響規模は現時点の概算値であり、各施策の進捗および影響額が具体化した時点で、速やかに開示・ご報告いたします。



AI UI 事業

売上 **4,003** 百万円
(前期比 +8%)

AIを活用した新サービスの立ち上げおよび継続した生産性向上により売上増とコスト減を実現し収益拡大

AIデータセンター事業

売上 **19,980** 百万円
(前期比 +97%)

昨年9月より売上が本格的に立ち上がり、今期は通期分売上高を見込む。広告強化による直販営業の増加による粗利増加を目指す

暗号資産金融事業

売上 **1,568** 百万円
(前期比 +3,384%)

2月に開始した、らくらくちょコインおよび自己保有暗号資産の運用を本格的に開始。らくらくちょコインについては、BTC以外の暗号資産へ取り扱い銘柄の拡大

業績予想の前提

本業績予想は以下のような前提で策定
基本方針としては、各事業収益性を重視した事業運営を行う

AI UI事業	<p>マーケット環境：インターネット広告市場、採用環境ともに堅調に推移</p> <p>pinpoint：「主力の層厚化」「直商流シフト」「既存深耕」の3本柱による販売強化を実施。通期では売上32%増を想定</p> <p>他媒体広告：pinpointとの併売により、今期並を見込む。</p> <p>ジョブオレ：Webマーケティング及び代理店強化、機能追加等による新規契約を加算。前期19%増を見込む</p> <p>HR Ads Platform：代理店強化、ATSメディア等の連携増による新規契約を加算。売上24%増を見込む</p> <p>求人検索エンジン：AI運用サービス「AdOLE.ai」による運用精度の改善とスピード向上により売上11%増を想定</p>
AIデータセンター事業	<p>マーケット環境：市場環境は堅調に推移（GPU需要は引き続き拡大）</p> <p>GPUサーバー販売：広告強化による直販売上の増加。通期売上については、前年ベースより25%増を見込む。</p>
暗号資産金融事業	<p>運用残高：27年3月末に200億円に達する（原資はフロントでの資金調達およびレンディングなど事業による調達）</p> <p>運用利回り：年利換算平均で 12.5%</p> <p>BTC価格：平均 1,100万円程度を想定</p>
販管費	<p>成長に向けたメリハリのあるコスト配分を行う</p> <p>人件費：継続成長に向けた暗号資産金融業、AIデータセンター事業の採用強化に伴う人件費増加</p> <p>その他：新規事業の認知度向上のための広告宣伝費増加</p>

An isometric illustration of a cityscape with various buildings. Overlaid on the city are several digital and network-related icons: Wi-Fi symbols, a globe, a padlock, gears, and a cloud. Dotted lines and arrows connect these icons to different parts of the city, suggesting a networked or digital infrastructure. The overall color palette is light gray and white, with a prominent green rectangular box on the right side containing the main text.

4 | 事業リスク及び 経営基盤の強化

事業等のリスクと対応方針

項目	リスクの概要	顕在化可能性	影響度	時期	対策概要
市場環境に関するリスク	インターネット広告市場 クライアント企業の予算方針の変化、急激な景気悪化等による広告需要が減少するリスク	中	大	常時	新卒採用の通年化や大規模就職フェア等による採用母集団形成からウェブでの母集団形成への流れが加速すると予測。現状散見される運用代行における運営企業の規約変更などによる掲載中断による売上減は、今後も一定数発生するものと想定。
	GPUサーバー市場 クライアント企業の予算方針の変化、AIブームの過熱後に需要調整が入ると、顧客の購買意欲が減少するリスク	中	大	常時	当社が販売しているGPUサーバーは、GPUサーバーの中で、特にハイスペックな学習用ではなく、日常的に利用する推論用のモデルに限定しており当面需要は拡大するものと想定。推論需要を高めるための自社サービスも検討中。
	暗号資産金融市場 市場の需給動向、投資家心理、マクロ経済情勢、規制動向などによって急激な価格変動が生じるリスク	中	大	常時	暗号資産の中でも比較的流動性が高く、長期間にわたり市場での信頼性が確立されているビットコイン（BTC）のみを保有対象とする。これにより個別銘柄特有の信用リスクや極端な価格変動リスクを低減。
情報セキュリティ、法的規制及びプラットフォームの動向に関するリスク	① 個人情報の取扱いについて 個人情報の流出等の重大なトラブルが発生するリスク	低	大	常時	個人情報保護管理規程の制定、社内教育を通じた関連ルールの周知と意識の向上、プライバシーマークの対応、ハッキングに対するセキュリティ管理の徹底等をベースとして対応していく。
	② 法的規制やプラットフォーム等の動向 プラットフォーマー等による規制や、暗号資産・NFT、個人情報に関する法的規制が大きく変更するリスク	中	大	常時	1st Party dataの更なる活用を念頭に、保有データを強化して当社の強みを発揮していくとともに、法的規制を遵守しつつ、プラットフォームの動向に左右されにくい新たな収益モデルを確立していく。 暗号資産・NFTについては、今後法的規制が入る可能性もあり、動向を注視。
競争環境の変化に関するリスク	新しいサービスの台頭を含む競合 新規参入企業の台頭、過当競争等により当社の優位性を保てなくなるリスク	低	大	常時	<ul style="list-style-type: none"> ・高付加価値DMPの実現等により運用型広告に必要とされる運用力の優位性の構築 ・データベースのさらなる拡充を図るための、会員満足度の向上と新ユーザーエクスペリエンスの提供 ・データサプライヤーとのアライアンスやパートナーづくりの推進

経営基盤の強化

経営の実績とAI/暗号
資産に関する専門性を
有する経営体制の構築



AI/DXを駆使した
従業員の生産性の
劇的な向上



外部リソースを
フル活用した
営業力の強化



資金調達源の多様化と
配分の見直しによる
資本政策の最適化



変化の激しい環境において、
中長期的な成長戦略を確実に進めるため、
経営基盤の強化に取り組む

The background features a light gray isometric cityscape with various skyscrapers. Overlaid on this are several digital and network-related icons: Wi-Fi symbols, a globe, a padlock, gears, and a cloud. Dotted lines and arrows connect these icons to the buildings, suggesting a smart city or digital infrastructure theme.

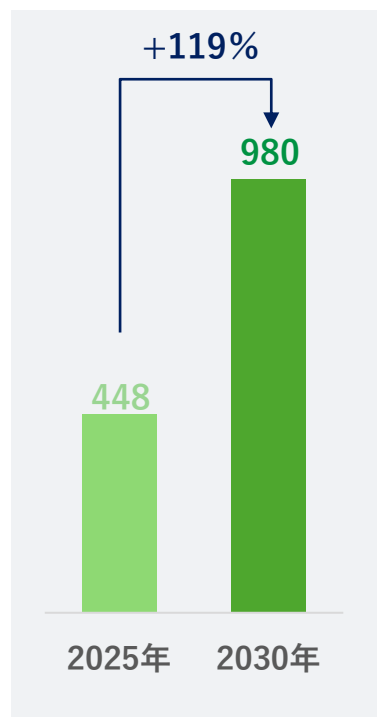
5

Appendix: 事業毎のアップデート・ 組織運営におけるトピックの掲載

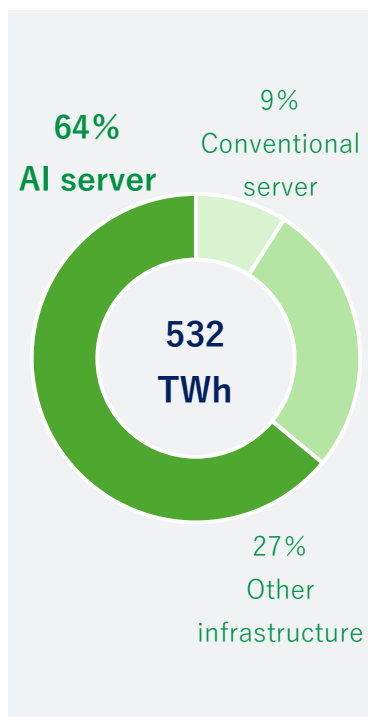
AIデータセンター電力需要増に伴う推論価値の向上

2030年までのデータセンター電力増加の64%はAIサーバが占め、そのAI需要の中核は学習から推論へと構造的にシフト。電力逼迫の質は『モデルを作る』需要から『AIを使い続ける』需要へと変化

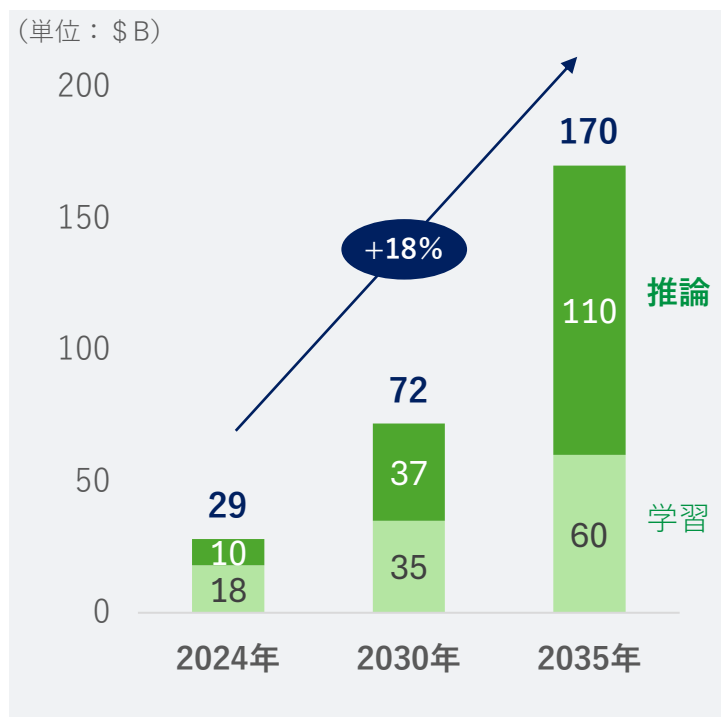
Total electricity consumption for data center(TWh)



Electricity incremental consumption 2025-2030



推定市場規模



出所：「Gartner、データセンターの電力需要は2025年に16%増加し、2030年までに2倍になるとの予測を発表」記事（2025年11月19日）

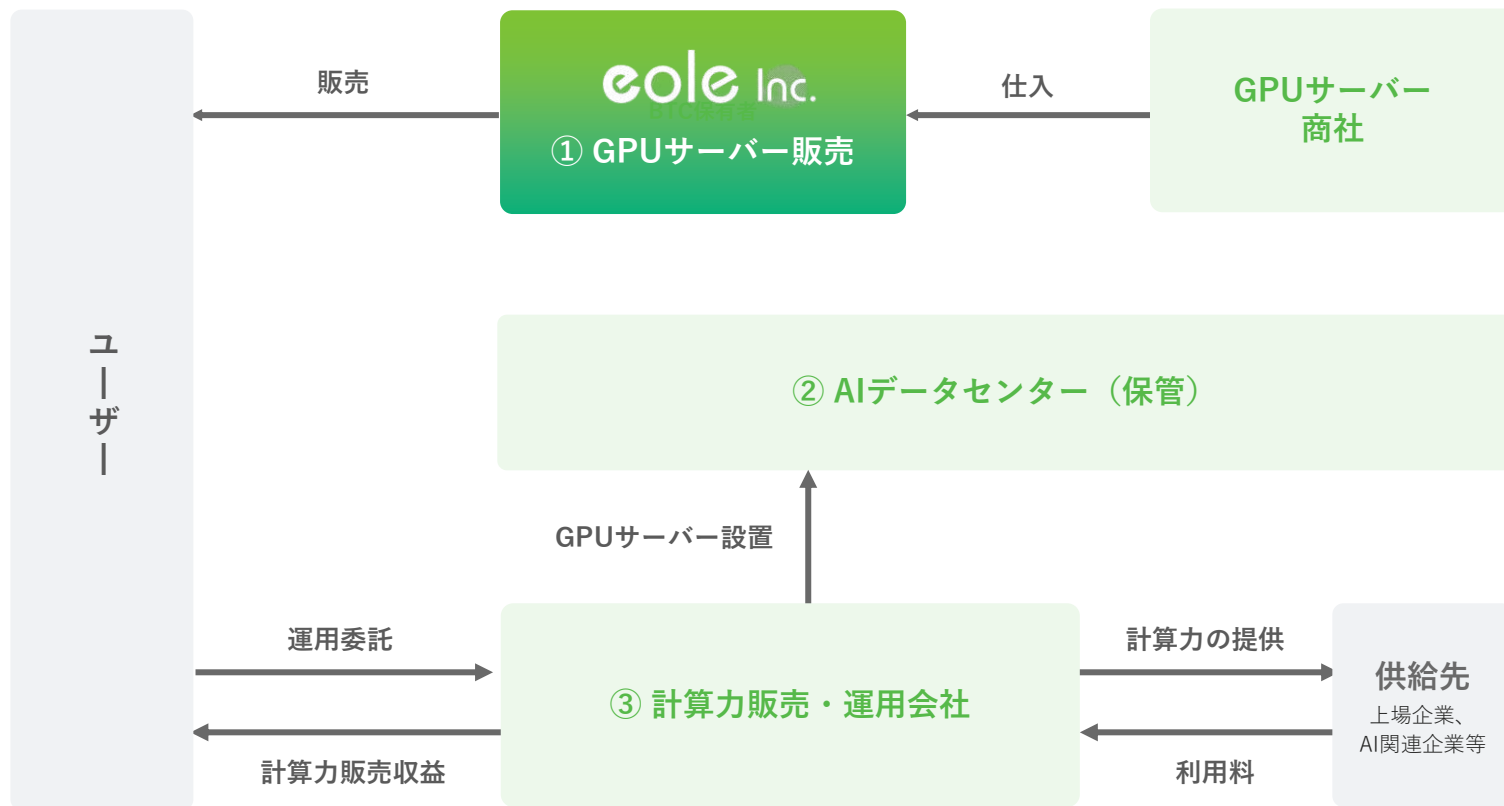
出所：経済産業省 第15回 半導体・デジタル産業戦略検討会議内、参考資料p.23（令和8年3月18日）

AIデータセンター事業

※1 テラフロップス(TFLOPS)とは、1秒間に1兆回の計算処理が可能なコンピュータの性能指標です。AIや科学計算など、大量のデータを高速処理する用途で重要とされます

ユーザーにGPUサーバーを販売し、そのテラフロップス※1を他社へ提供するビジネス。

① データサーバー販売は既に事業を開始しており、②以降については状況に応じて開始



AIデータセンター事業における当社の戦略

グローバルトップティアの技術パートナーであるSuperX社を始めとした国内外企業との連携を加速させ、日本市場における次世代データセンターのデファクトスタンダード確立を目指す

01

戦略パートナーシップとソリューション

国内外トップ企業とのパートナーシップ

モジュール型AIDC技術と最新の推論向けGPUサーバに関して強力な調達力を持つSuperX社（NASDAQ上場）等と連携し、圧倒的に不足する国内のAIDC需要に応える体制を構築

グローバルスタンダードのソリューション

最もリーズナブルかつ高度なDCノウハウと実績を有する



02

競争優位性

モジュール化

コンテナ/モジュール単位で機能入れ替えが可能。技術の陳腐化に併せて即座にアップデート対応し、常に最先端の計算能力を提供可能（技術の陳腐化に対応）

圧倒的な速さとリーズナブルさ

建設工期を劇的に短縮し、需要が発生した段階で速やかに、かつリーズナブルなコストでDC供給が可能



強力なGPUサーバ調達力

SuperX社はNVIDIA Blackwell最新世代GPU搭載サーバを自社製造。日本国内において圧倒的な調達優位性を持つ

03

実績と展望

データセンター開発支援の進捗

三重県や薩摩川内等での実証に加え、福島でのデータセンター開発への投資を開始。米国やアジアでの先行事例をベンチマークとし、日本市場におけるデファクトスタンダードを狙う



今期販売実績

GPU換算で約5,000枚を販売しており、事業立ち上げから1年弱で国内主力DCにおいて約12～13%規模のシェアを供給できるようになった

成長投資

更なる成長への投資として、既存発行新株予約権の資金使途のうち20億円をAIDC事業へ振り分け

福島双葉町DCプロジェクトの進捗

デジタル
ダイナミック
Digital Dynamic Inc.

JAIC
日本アジア投資株式会社

eole Inc.

分散型AIデータセンター事業

東北リージョン
福島双葉町DC

プロジェクト始動

プロジェクト 進捗

- プロジェクトに関わる匿名組合を組成
- 当社は匿名組合へ一部出資（1億円規模）し、匿名組合の持分を取得
- プロジェクトの資金面での手当が完了し、本DC事業を推進中

AI活用による業務効率化・新サービス創出

当社は2025年度、AI技術 × 自社データ基盤の利活用を全社で推進。既存事業の業務効率化と3つの新AIサービスによる付加価値創出を同時に実現し、2024年度比で生産性は約1.5倍に到達いたしました。

生産性 vs. FY2024

1.5x 従業員一人当たり生産性

業務効率化

約1/3 定型業務の工数を圧縮

新AIサービス

3件 2025年度4Q 連続リリース

EFF. 業務効率化 — 実施業務は約3分の1に工数削減（定型業務中心）

広告事業部

配信設計書 5～10分 → 1～3分
Instagram配信 5～30分 → 5～10分

検索エンジン

入札記録自動入力 10分/回 → 0分
Indeedシミュ 2時間 → 30分

HRアド・ジョブオレ

原稿審査 178h/月 → 37h/月
エビデンス関連 69h/月 → 29h/月

コンシューマーメディア

非エンジニア改修 54件 ('25.10～'26.3)
WP入稿 45分 → 20分/施設

NEW 新AIサービス — 2025年度4Qに3件を連続リリース

2026.03.31 / NEW GRAD

pinpoint シリーズ

知名度に依存しない新卒採用ワンストップモデル

独自データ基盤で「採用個性」を可視化。診断→制作
→配信→メディアまで一貫支援。

tAipe 診断

Creative

Ads

Media

4サービス

一気通貫

5軸

採用個性診断

2026.04.01 / JOB AD

AdOLE.ai

Indeed等 求人サイト運用代行 × AI 新プラン

3,000社・285万件的配信実績と自社ATS求人DBをAIが
解析。運用品質を継続的に底上げ。

Recruit Creative

Analyst

Smart Keeper

1.5x

応募数 ※1

-33%

応募単価

5.0x

CVR

-70%

機会損失

2026.03.12 / PET EC

ペット商品AI検索

休日いぬ部発・対話型パーソナライズ購買

種別・年齢・体格・悩みをAIが対話で深掘り。複数
ECモール横断で「うちの子専用」を提案。

対話型AI

マルチEC

会員連動

2モール

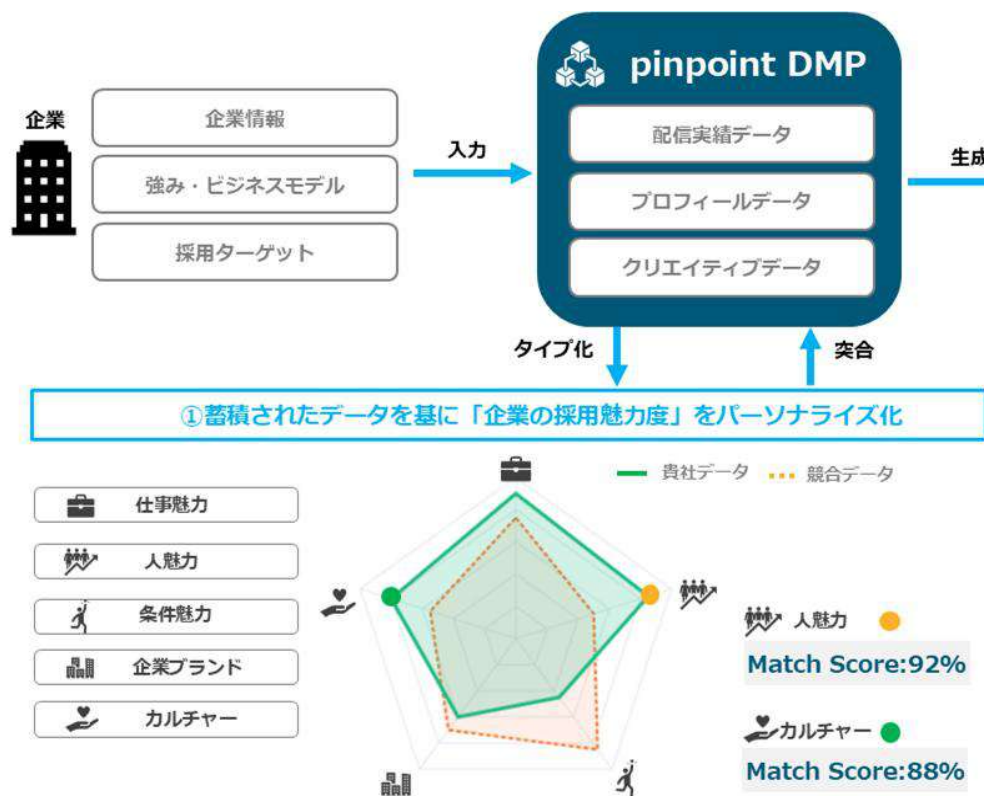
楽天・Yahoo!から

0円

ユーザー利用料

Pinpoint DMP

pinpoint DMPを通じて、企業に本来備わっている固有の魅力を客観的データに基づき、ターゲットとなる学生に最も響くクリエイティブの方向性を導出し、企業の知名度に依存しない新卒採用の実現を支援



②ターゲットに刺さるクリエイティブ案を生成

PRIORITY 01 人魅力（社員・雰囲気）

同規模の競合企業よりも若手の活躍度が高い印象です。20代のマネジメント職登用や、大型プロジェクトのリーダー実績が豊富なため、「どんなチームで働いているか」という人ベースの訴求が、未認知層の学生に最も刺さります。



PRIORITY 02 カルチャー（価値観・社風）

ライフワークバランスを重視し、メリハリのある働き方を徹底されています。休日に音楽活動や趣味を本気で楽しむ社員が多く、「個人の充実が仕事の質を上げる」という文化が根付いている等を打ち出せると刺さります。



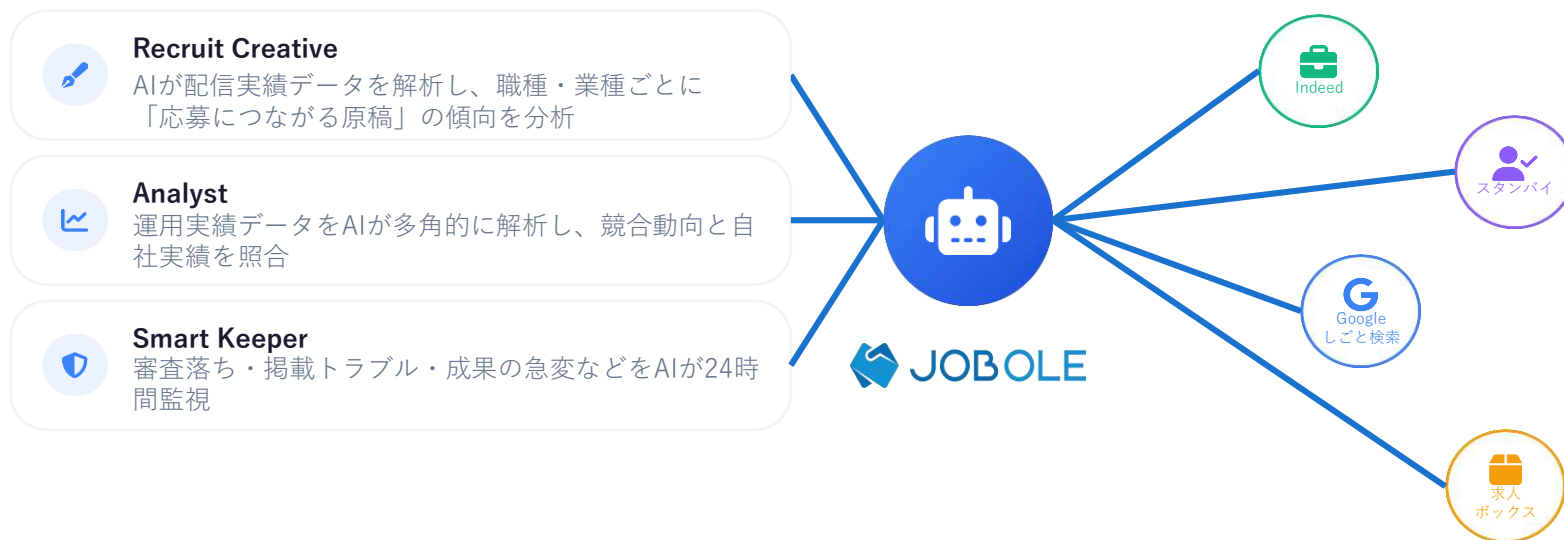
AdOLE

運用代行実績データとジョブオレの求人データベースという2つのデータ資産（累計3,000社以上、約285万件）にAI技術を組み合わせることで、求人検索エンジン運用代行の品質水準を継続的に引き上げるサービスモデルの確立を目指す

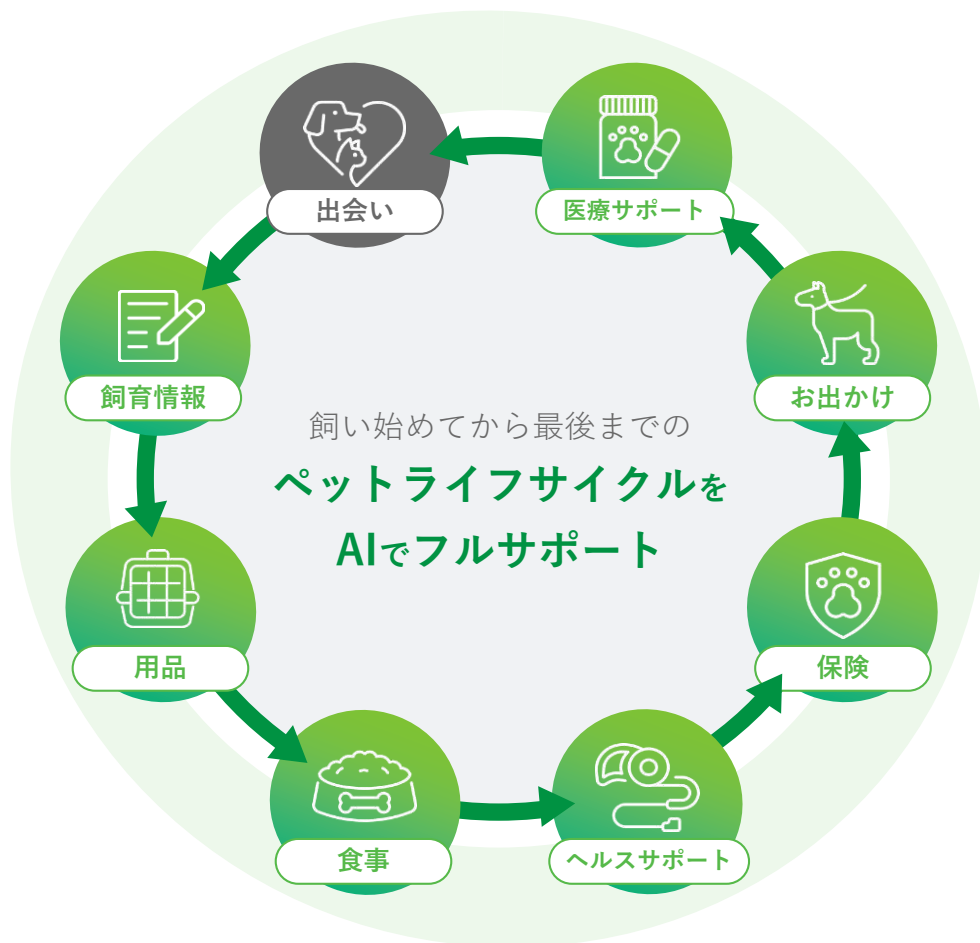
AdOLE.ai

Indeedをはじめとする求人サイト運用代行サービスにAI機能を搭載した新プラン

求人検索エンジンとAIの連携



ペット事業におけるAI総合サービス詳細（アップデート）



ペットを探す以外の
すべてをサポートできる
サービスを目指し、
自社オリジナル商品や
OEM商品なども検討

休日いぬ部① サービスリリース-ペット保険診断-

複雑化するペット保険プランの中から、自分のペットに本当に必要な補償内容や、家計に合った保険料を見つけるニーズに対応すべく、簡単な質問に答えるだけでペットオーナーに最適な補償内容や保険料などの特徴をわかりやすく比較して提案する機能をリリース。ペットオーナーの悩みを解決し、新たな価値提供の実現へ。

簡易な質問への回答で愛犬・愛猫にぴったりのプランを提案



特徴を比較し、最適な保険選びをサポート

ペット保険診断

5歳のトイ・プードルにぴったりの保険プランが3つ見つかりました！
ご回答内容に基づき、当社取り扱い商品の中から、補償割合70%、通院補償あり、免責金額なしのプランをご提示しております。

業界最安値クラス・年間補償120万円！

リトルファミリー少額短期保険株式会社

70% 補償

月額保険料 **¥2,010** 円/月

支払保険料総額: ¥362,760

保証内容	通院	入院	手術
補償有無	○	○	○
上限金額	300,000円/年	600,000円/年	300,000円/年
上限日数・回数	制限なし	制限なし	制限なし

免責金額 **なし**

対象疾病
○ 産科治療 ○ パテラ ○ 稀間接ヘルニア

・生涯保険料が業界最安値クラス。
・年間補償限度額120万円まで、日額や回数の制限なく保険金をお支払い。保険料と補償のバランスに優れた保険。

更新拒否なし！シニア期も値上げ緩やか

ペットメディカルサポート株式会社

70% 補償

月額保険料 **¥2,390** 円/月

支払保険料総額: ¥424,200

保証内容	通院	入院	手術
補償有無	○	○	○
上限金額	10,000円/日	20,000円/日	100,000円/回
上限日数・回数	26日/年	30日/年	2回/年

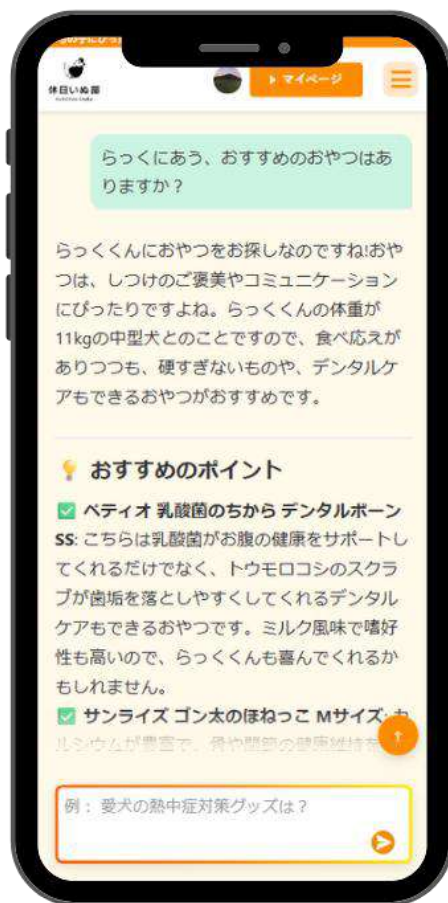
免責金額 **なし**

対象疾病
○ 産科治療 ○ パテラ ○ 稀間接ヘルニア

※生後120日以上かつネット申し込みかつ特約なしの月額保険料です。
※認定された支払標準日数(回数)と標準額の範囲内での補償となります。
※2回目の手術は、1回目と異なる原因の場合に限ります。

休日いぬ部② サービスリリース-ペット商品AI検索-

愛犬・愛猫の情報をもとにAIがチャット形式で最適な商品を提案する「ペット商品AI検索」をリリース。会員が登録してるペット情報と連携し、「うちの子専用」のパーソナライズ提案でサービス価値と顧客体験を向上。



広告事業

広告事業

The logo for 'pinpoint' features the word in a lowercase, sans-serif font. The 'i' and 'n' are dark blue, while the 'p' and 'o' are a lighter blue. The 'i' has a small dot above it, and the 'o' has a small dot to its right. The 'n' has a small dot above it, and the 't' has a small dot above it.

- 提携パートナーが独自に保有する2000万人以上のユーザーデータを活用した広告配信サービス。
- ユーザーデータをDSPや各SNSへ連携させる事で国内のほぼすべてのサイトへの配信が可能。
- 広告配信における媒体選定～クリエイティブ制作まで提供可能。

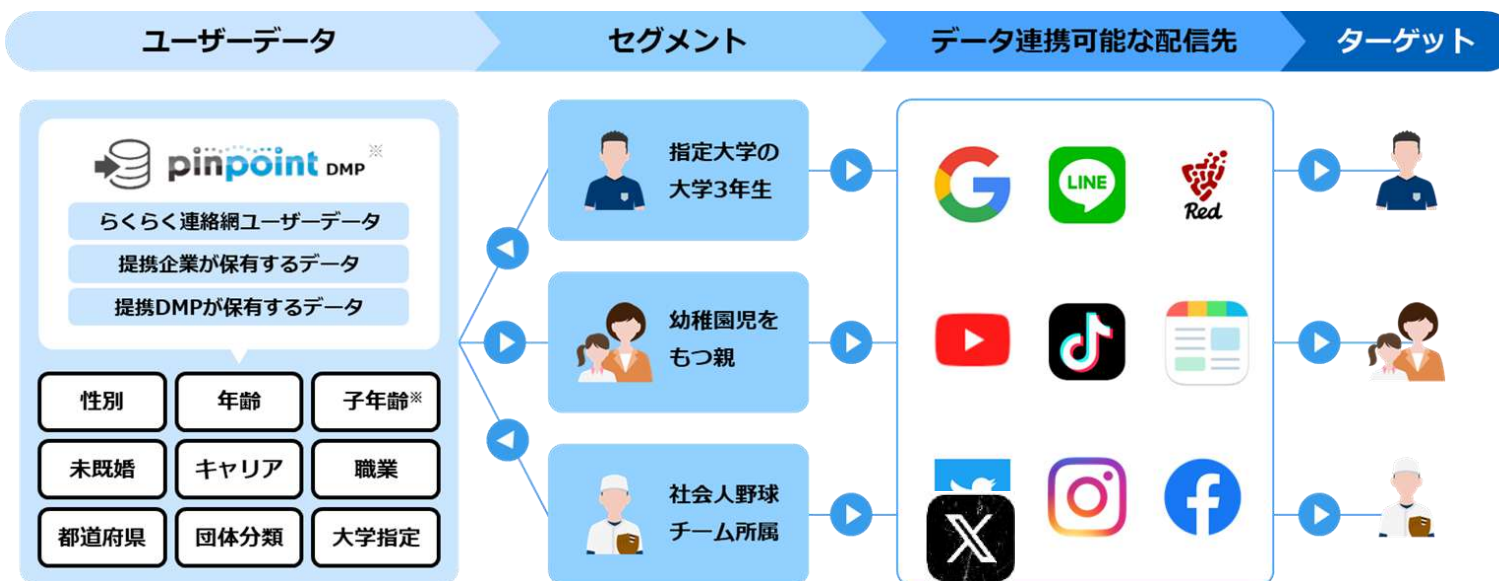
広告事業のビジネスモデル





提携企業のユーザー情報を活用した広告配信サービス

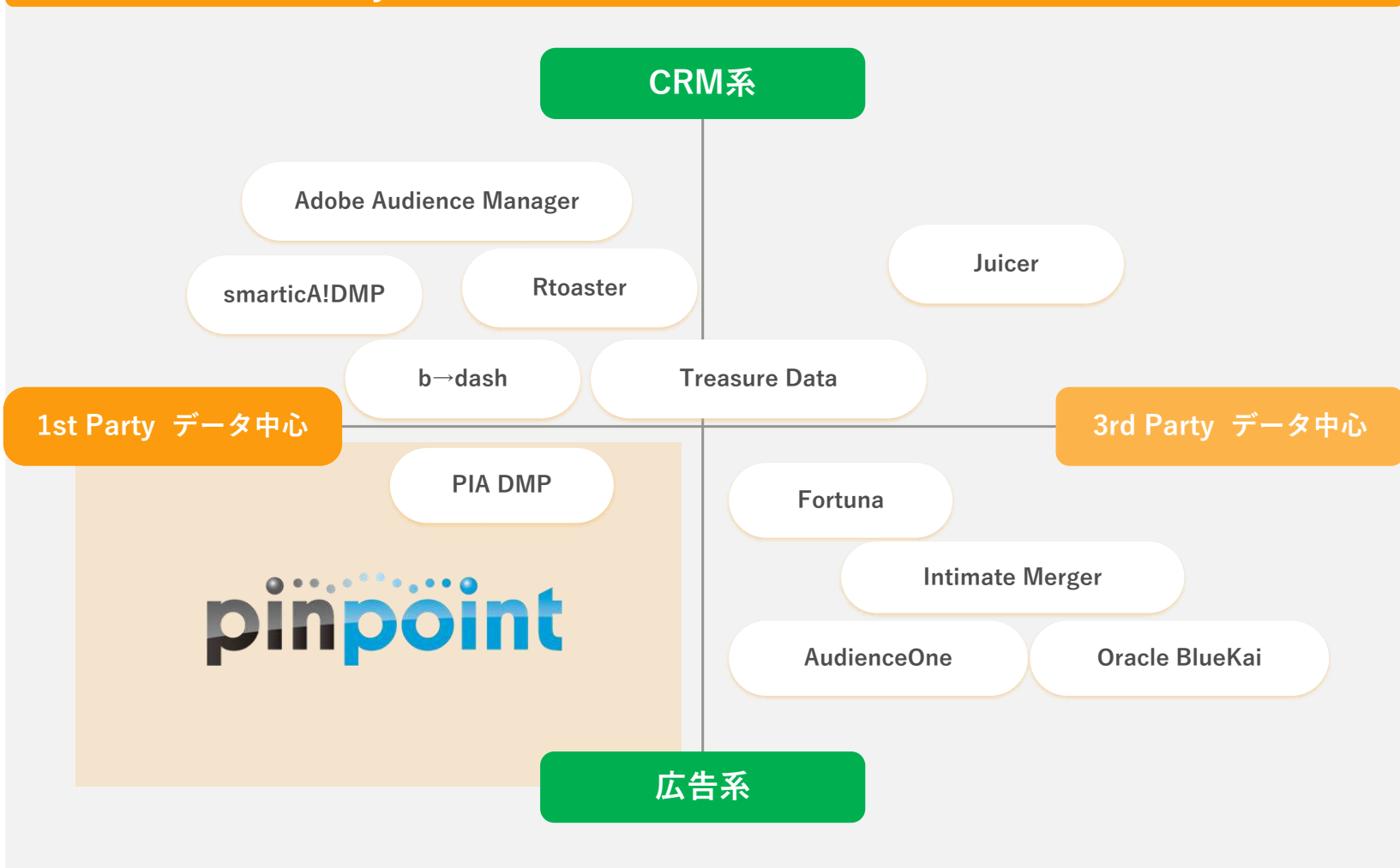
2,000万人以上のデータの中から企業のニーズに合致したターゲットに対象を絞り、日本全国ほぼすべてのWEBサイトとSNS上で広告配信を行えます。



- pinpointDMP 『らくらく連絡網』ならびに提携企業のユーザー情報を活用した広告配信やマーケティング調査が可能で、個人が特定できない情報でかつ暗号化されたデータが格納されている。
- DMP サイトアクセスログや、購買データ、広告出稿データなどの様々なデータの管理と、それらを活用して企業のマーケティング活動の最適化を図るためのプラットフォーム。

pinpointの特徴

1st Party Dataを生かし、精度の高いターゲティング広告が可能



AIUI HR Tech事業（アップデート）

求職・採用市場におけるニーズの細分化、手法の複雑化・高度化に対し、既存事業・新規事業ともに基本戦略は同じも、事業リスク回避のためにも、自社サービスを成長させる方針

◎ 事業ビジョン

求職・採用市場にシームレスなサービスを提供する

- 採用マッチングプラットフォーム構築
- セグメントで区切ったサービスの連続立上
- HRTech市場で年間100億円の事業創出

! 解決する課題

- 採用におけるミスマッチが多い
- メディア・求人手法の多様化により、転職活動が複雑化
- 労働人口の減少により、採用コストが上昇し続けている

▣ 全社戦略

- 既存バリューチェーンに捉われないサービスの創造
- 一気通貫の事業構造構築

↗ 事業戦略

- **市場**：雇用形態×求人手法×業種を特定したニッチ市場の開拓
- **求職者**：タレントプールの構築（転職支援サービスなど）
- **企業**：採用支援サービスの充実

求人広告運用



「ジョブオレ」を活用した求人検索エンジン広告代理運用事業。
独自のデータフィード技術と運用ノウハウを活かした高いパフォーマンスを提供し、高継続率を維持。

「2023年上期総合売上賞 ゴールドカテゴリ1位」と「2023年上期ベストグロース賞 賞売上部門ゴールドカテゴリ1位」の二冠を受賞。

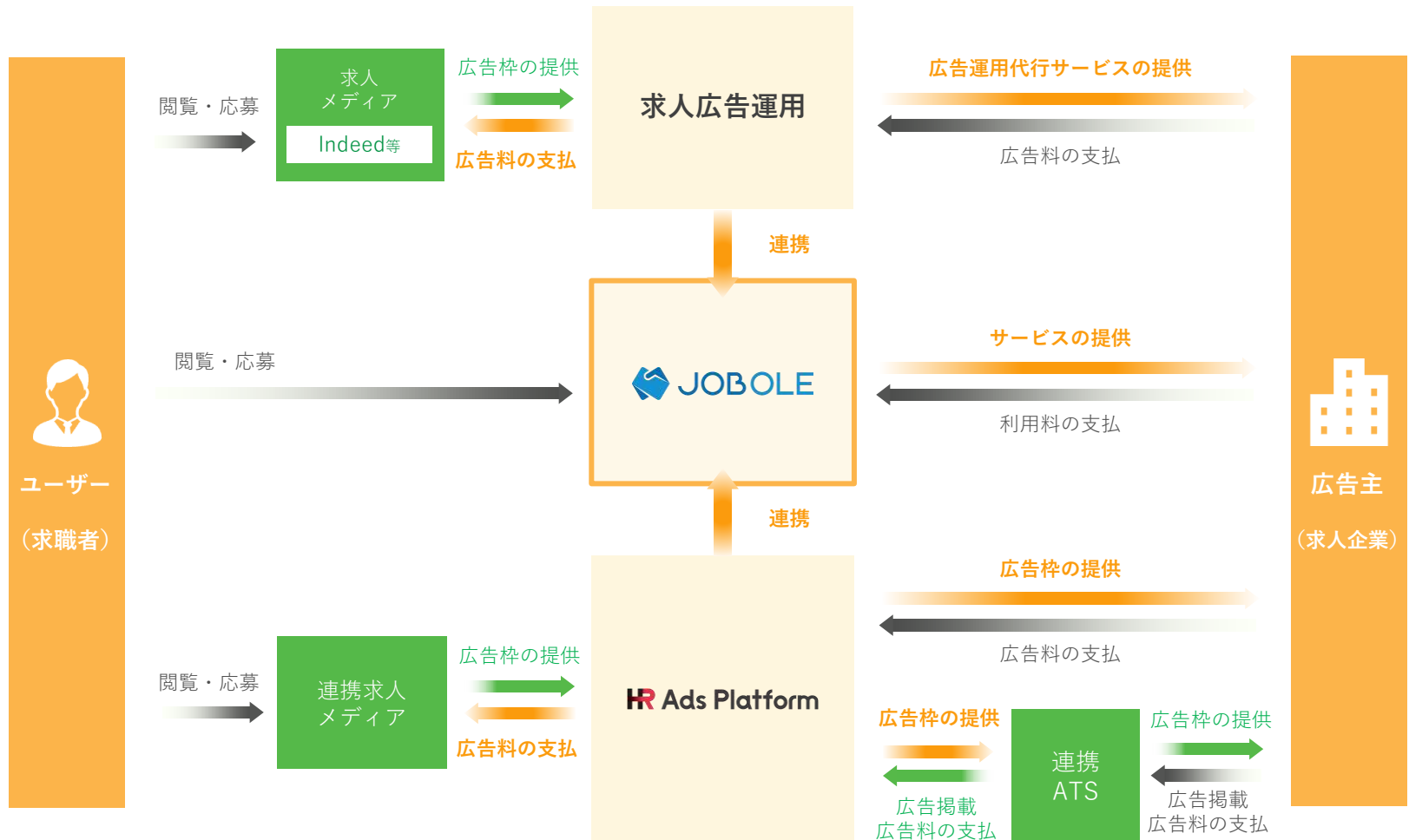


簡単スピーディーに採用サイト作成ができる採用支援システム。
イオレが10年以上にわたり運営していた自社メディアの集客ノウハウを反映し、求人検索エンジンでの効果を最大化させることで、採用数増加を支援。
「HRアドプラットフォーム」とも連携。

HR Ads Platform

求人企業と求人メディアを繋ぐ運用型求人広告プラットフォーム。
データとアルゴリズムで求人広告の配信を最適化し、多数の求人メディアへの求人作成・求人出稿と応募者管理の工数を削減。採用効率の向上、応募効果の最大化をサポート。一部機能に関して、2022年に特許取得。

HRデータ事業のビジネスモデル



求人広告運用

運用ノウハウを駆使した3大求人検索エンジンの運用

自社求人サイトにおいてIndeed・スタンバイ・求人ボックスなどの広告運用を行う上で蓄積された独自の運用ノウハウを駆使し、高いパフォーマンスを提供します。



Indeedの認定パートナー制度において2023年上期総合売上賞 ゴールドカテゴリ 1位に

2023年上半期に総合売上賞1位・ベストグロース賞売上部門1位（いずれもゴールドカテゴリ）を受賞。Indeed認定パートナーとは、Indeed広告の販売代理店として公式に認定された代理店です。その中でも特に優れた実績のあるパートナーは特別認定を受け、**200社以上※**のパートナー認定企業のうち、**プラチナムパートナー**、**ゴールドパートナー**、**シルバー+パートナー**、**シルバーパートナー**が特別認定を受けています。

※2024年3月31日時点

独自ツールを活用した運用で高い継続率を実現

採用支援システム「ジョブオレ」やデータフィード※1運用サービス「e-feed」など、独自のツールを駆使した運用によって、広告効果を最大化。運用能力を高く評価していただき、

95%以上※2の顧客継続率を実現しています。

※1 データフィード…求人情報をIndeed等の求人検索エンジンに掲載する方法の一種。クリック率や応募率の改善に繋がります。

※2 2023年4月～2024年3月の案件継続率





応募者対応・分析機能を搭載採用数を増やす採用支援システム

簡単スピーディーに採用サイト作成ができる採用支援システム。
質の高いサイト集客と採用効率化を実現します。



▼▼▼
応募者管理

ID	ステータス	今のフェーズ	内定直前のフェーズ	氏名
248148	面接済み	応募	選択してください	イオシタ子
196994	勤労会・面接会	二次面接	二次面接	イオシタ子
196856	未対応	応募	選択してください	イオシタ子
196813	面接待ち	内定	一次面接	イオシタ子
196810	未対応	応募	選択してください	イオシタ子

求人検索エンジンと連携

「Indeed」「求人ボックス」「スタンバイ」などの豊富な求人検索エンジンと連携し、最適化。
検索エンジンからの流入を増やすことで質の高いサイト集客を実現します。



HRアドプラットフォームと連携

目標の応募単価・予算・掲載期間を設定いただくだけで、ジョブオレで作成いただいた求人を「HRアドプラットフォーム」と提携している求人サイトへ自動で掲載。

HR Ads Platform

HRアドプラットフォーム

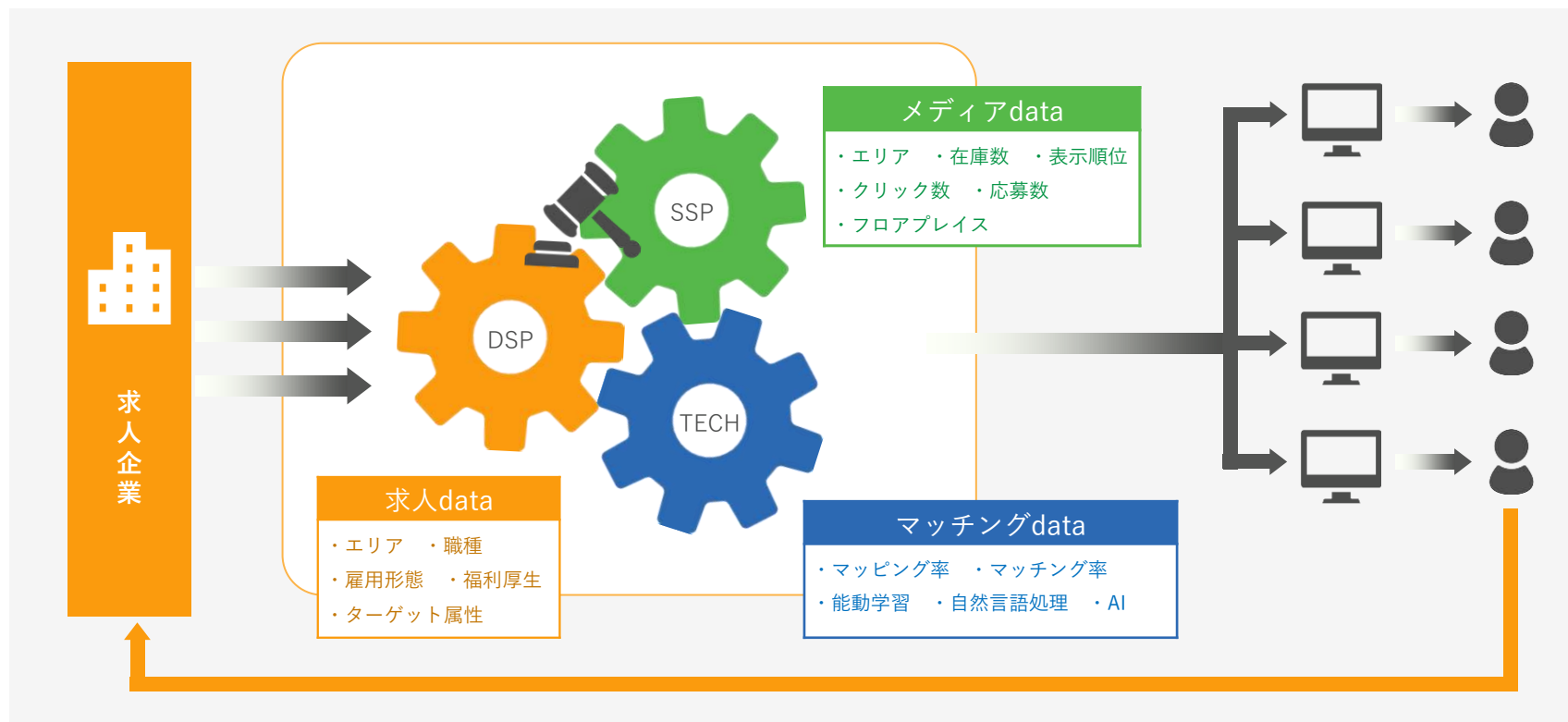
HR Ads Platform



HRアワード2021
プロフェッショナル部門入賞

求人企業と求人メディアを繋ぐ運用型求人広告プラットフォーム

データとアルゴリズムで求人広告の配信を最適化し、多数の求人メディアへの求人作成・求人出稿と応募者管理の工数を削減。採用効率の向上、応募効果の最大化をサポート。



コンシューマメディア事業

コンシューマメディア事業



休日いぬ部
kyūzitsu-inubu

2023年2月1日事業譲受。

ペットと泊まれる宿や旅行先情報を発信するペット旅行専門メディア。

エリアごとの特集、温泉・露天風呂付きなどの施設タイプごとの特集、現地取材記事など、ペット旅行に役立つ情報を発信。

通常のOTAサイトでは提供しにくい飼い主目線から生成されたコンテンツが充実。



休日グランピング部

2025年2月1日事業開始。

全国の人気グランピング施設を比較・検索できる専門メディア。

エリア別特集や、料金の安さ・子連れ向け・サウナ付きなど20種類以上のテーマ別特集を掲載。予約実績に基づく人気ランキングや、ユーザー視点で整理された検索軸により、自分に合った施設を効率的に見つけられる構成。

休日いぬ部



休日いぬ部
kyūzitsu-inubu

「愛犬との休日を豊かに楽しく」

ペットと泊まれる宿や旅行先情報を発信する

ペット旅行専門メディア

ペットと同伴できるホテル・旅館・旅先のみをコンテンツとして扱っており、エリアごとの特集、温泉・露天風呂付きなどの施設タイプごとの特集、現地取材記事など、ペット旅行に役立つ情報を発信。

通常のオンライントラベルエージェント（OTA）サイトでは提供しにくい飼い主目線から生成されたコンテンツが充実しています。

ペット宿

全国約1,200箇所のペット宿情報
OTA3社のペットプラン比較が可能



まとめ記事

ペットと泊まれる宿や観光先などを
エリア・特徴ごとにまとめたコンテンツ



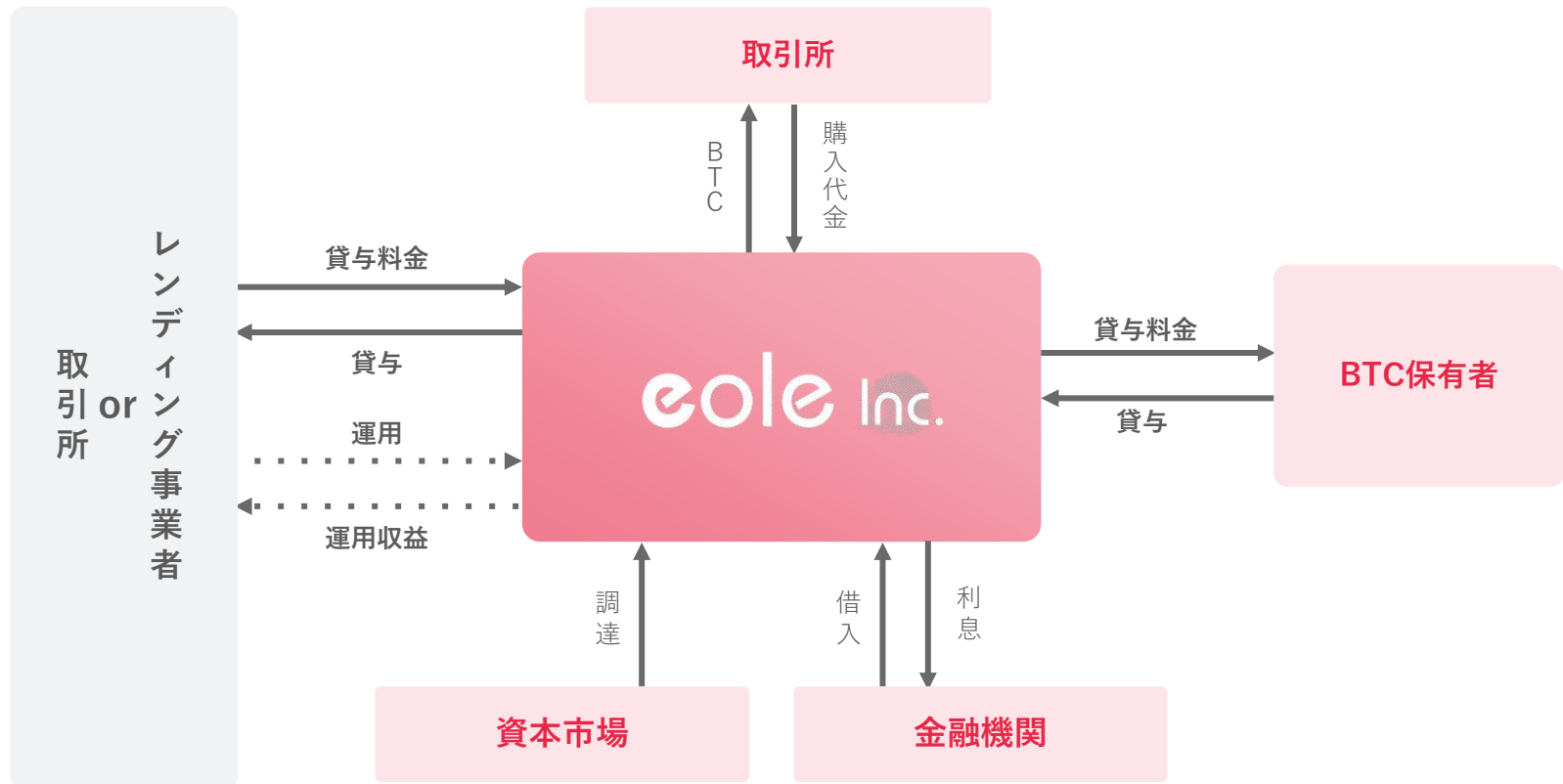
現地取材

現地での取材を通して
ペットオーナー目線で施設を紹介



暗号資産金融事業

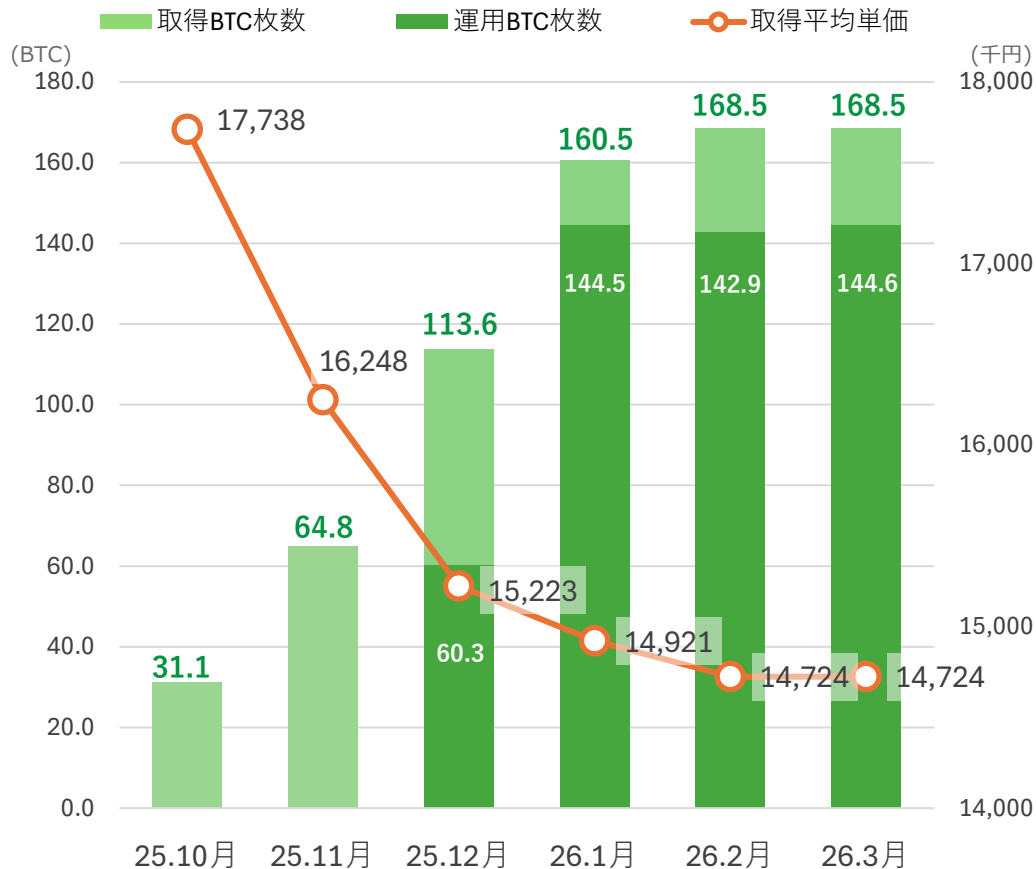
- ① 資金を調達し、ビットコインを購入(暗号資産トレジャリー)
- ② 自社保有分+他社貸与分を取引所・レンディング事業者に貸与。将来的には自社運用(暗号資産レンディング)



保有と運用の進捗

10月よりドル・コスト平均法により着実なBTC取得を開始し、12月からは運用も開始

保有残高と運用残高の推移



BTC運用状況

- 戦略パートナーであるGaiaとJ-CAMとそれぞれと協業し、運用中
- Gaiaの運用パフォーマンスが良好であったことを踏まえ、同社への出資を実行（2026年2月末）
- AIによる内製化も推進し、さらなる運用パフォーマンスの向上を狙う

レンディングサービスの開始（アップデート）

2026年1月28日より個人向け、法人向けレンディングサービスを開始し、同4月にはBTC以外の取扱い暗号資産を拡充。さらに、貸し手の集客に係るマーケティング活動を強化し、貸借残高の拡大を目指す



NEW

ETHやXRPの扱いも拡充
(4月リリース)



サービス開始2週間で
貸借残高40億円突破

eole Inc.

+Gaia、J-CAM運用
パートナー



運用

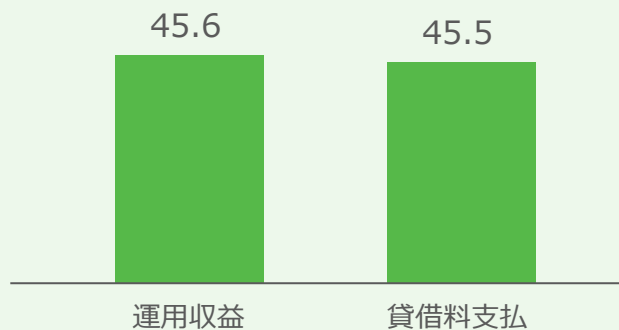
これまでの実績と進捗

2026年3月期の実績 前回からのアップデート

マーケットが乱高下する中、レンディング事業運用収益が貸借料支払を超過

通期実績

単位：百万円



その他のトピック

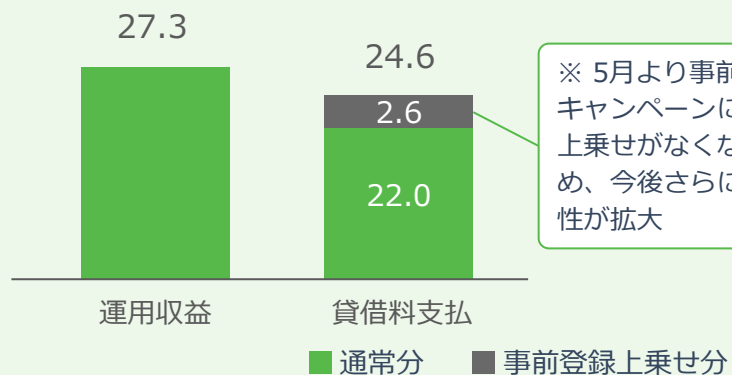
- 出資先であるGaia社とAI運用アルゴリズムの開発に着手

2027年4月期の進捗 4月単月実績

運用収益率が順調に拡大中

2027年4月 単月実績

単位：百万円



※ 5月より事前登録キャンペーンによる上乗せがなくなるため、今後さらに収益性が拡大

その他のトピック

- 出資先であるSlash社がカード発行開始

出資先であるSlash Visionが「Slash Card」を発行開始

Options

Card Types

使い方に合わせて
物理とバーチャルから
お選びいただけます



Physical Card

物理カード

全国配送。店舗での決済に

全国配送

世界中のVisa加盟店で決済可能

複数発行可能

初期カード発行費用

期間限定

~~70 USDC~~ 35 USDC

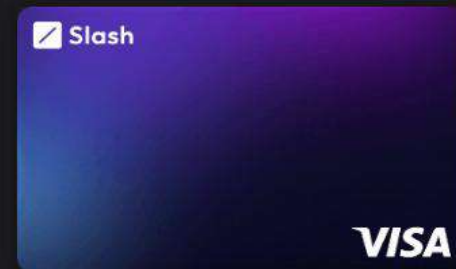
年会費

初年度

無料

2年目以降

20 USDC



Virtual Card

バーチャルカード

即時発行。オンラインでの決済に

即時発行

ネット上のVisa加盟店で決済可能

複数発行可能

初期カード発行費用

20 USDC

年会費

初年度

無料

2年目以降

20 USDC

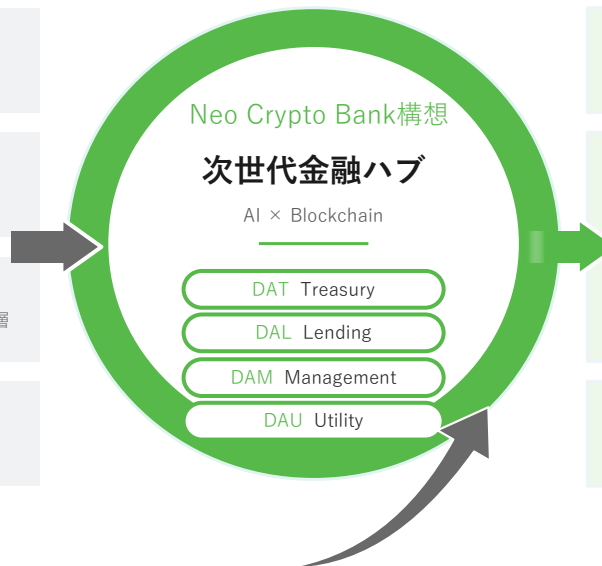
次世代金融ハブとしてのNeo Crypto Bank構想

世界の金融インフラはオンチェーンへシフト。DATで積み上げた暗号資産を起点に、Neo Crypto Bankが24時間365日の次世代金融ハブとなる。

BEFORE

既存金融の構造的限界

9-17時	営業時間の壁 銀行窓口・証券市場は平日日中のみ稼働
3-5日	決済の遅延 国際送金・株式決済はT+2~5日が標準
数%	中間コスト 仲介手数料・為替スプレッド・管理費が重層化
高額	小口投資の壁 不動産・未公開株は個人に開放されにくい



AFTER

Neo Crypto Bank が拓く世界

24/7稼働	常時オンチェーン金融 決済・運用・送金が時差なしで完結
秒決済	リアルタイムファイナリティ グローバル送金もブロック単位で即時確定
P2P	中間レイヤーの圧縮 仲介コストを技術で信用担保に置換
\$1~	Assetの小口民主化 誰もがあらゆる資産クラスへアクセス可能

暗号資産金融業界の追い風

グローバル

BlackRock・JPMorgan がトークン化を2026年主要テーマに

国内トレンド

金融庁が野村・大和×3メガバンクのSC決済実証を支援(2026/2)

インフラ

Progmat / JPYC / Japan Open Chain が商用フェーズへ

AIを活用を前提とした人事制度へ刷新

AI利活用による生産性向上を一過性の成果に終わらせないため、AI習熟度を人事評価の中核に据え、EARS (Eole AI Readiness Score) と5バリュー×5グレードの行動評価を導入。組織レベルはLv.2 (AIプラクティショナー) に到達し、生産性向上分は業績賞与として社員へ還元いたしました。

B 人事制度刷新 / EARS と 行動評価

EARS Eole AI Readiness Score / 組織レベル・現在地

	組織レベル	現在地
5	AIイノベーター組織 AI発信で業界標準を創出	Lv.2 / 5 Native
4	AIトランスフォーマー組織 事業モデルをAIで再構築	Transform
3	AIインテグレートド組織 部門横断でAIが常時稼働	Integrate
2	AIプラクティショナー組織 全部門で業務時間30%以上削減を達成	現在地
1	AIユーザー組織 定型業務のAI活用が始まっている	Trial

★ 2024年度のLv.1 → Lv.2へステップアップ。次回はLv.3 (Integrate) を目指し、部門横断でのAI常時運用を拡大。

VALUE 行動評価 / 5バリュー × 5グレード

バリュー	G1	G2	G3	G4	G5
学び、変わり続ける	自ら学習	変化促進	変化予測	変革実行	業界リード
技術で仕事を加速	AI試行	変化促進	AI再設計	戦略立案	文化醸成
本質的価値を探求	多角化	革新解決	潜在ニーズ	存在意義	社会価値
共に挑み創る	協力連携	横断推進	協力体制	全体解決	エコ形成
未来を構想し実現	実装貢献	新技術	計画立案	戦略実行	ビジョン

誠実である

他者を尊重

浮き球を取りに行く

最後までやり切る

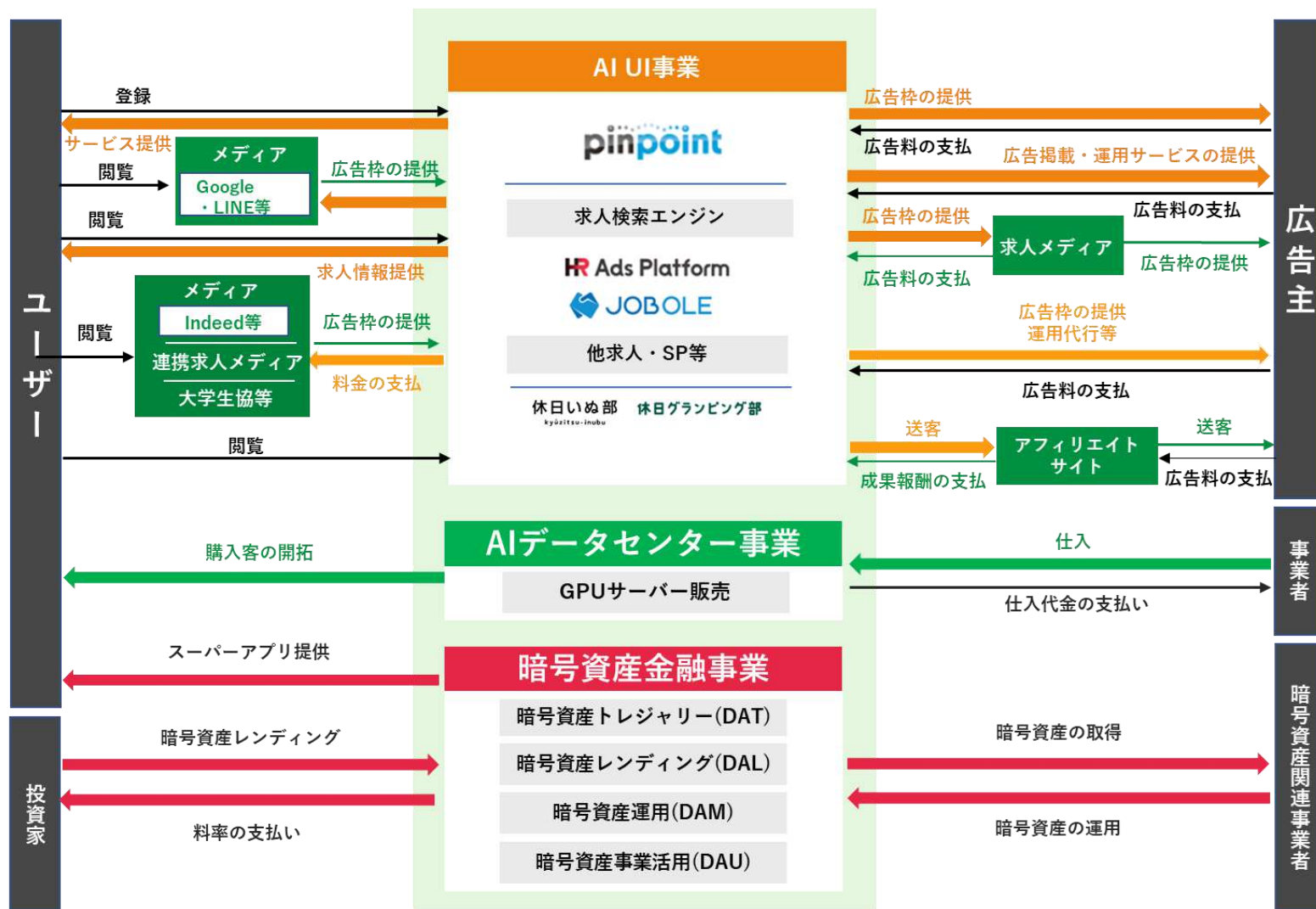
BONUS

生産性向上分は業績賞与として社員に還元

EARS組織レベル × 行動評価グレードで配分。成果創出 → 報酬還元 → 再投資のサイクルを確立。

2024年度比 1.5 × 連動

サービス収益構造



用語	説明
3層統合モデル	AI計算レイヤー（AIDC）、AI実装レイヤー（AIUI, etc.）、金融レイヤー（NCBC）の3層を横断して事業基盤を構築し、各レイヤーの成長が他レイヤーを加速させる自己増殖的なエコシステムを目指す当社の事業構造モデル
AI経済圏	AI利用・計算・金融を接続し、AIサービス・AIエージェントの活動と相互取引が経済活動として循環する経済圏。当社は3層統合モデルによりその形成を目指す。
AIネイティブ経済活動	AIエージェント等が主体となり、人間を介さずに自律的に発生・完結する経済活動。
AIDC (AI Data Center)	AI処理（特にGPU等のアクセラレータを用いた学習・推論）に特化したデータセンター。従来型DCと比較して高密度・高電力・高度な冷却を必要とする。
分散型AIDC	大規模単一拠点ではなく、複数地域に分散配置する形で構築するAIデータセンターネットワーク。電力確保・立地・レイテンシ・地域格差是正の観点で優位性を持つ。
モジュール型AIDC	コンテナ/モジュール単位で機能の入れ替えが可能なAIDC。技術の陳腐化に応じて即座にアップデート対応でき、建設工期を劇的に短縮できる。
推論 (Inference)	学習済みAIモデルを用いて入力データに対する出力（予測・生成）を行う処理。生成AIサービスの稼働時に継続的に発生する計算需要。
学習 (Training)	AIモデルを構築するためにデータを用いてパラメータを最適化する処理。一時的かつ大規模な計算資源を要する。
GPU (Graphics Processing Unit)	並列計算に特化したプロセッサ。AIの学習・推論において中核的な計算資源として用いられる。
GPUサーバー	GPUを搭載した高性能サーバー。AI処理向けに販売・運用される計算機。
TFLOPS (テラフロップス)	1秒間に1兆回の浮動小数点演算を処理できる計算性能の指標。AIや科学計算など、大量データの高速処理性能を示す。

用語集

用語	説明
PUE (Power Usage Effectiveness)	データセンターの電力効率を示す指標。IT機器電力1に対する施設総電力の比率で、1.0に近いほど効率的。世界平均1.56、国内一般水準1.7前後に対し、当社は最新液浸技術により1.2以下を目標に設定。
液浸冷却 (Immersion Cooling)	サーバーを絶縁性の冷却液に直接浸して冷却する次世代冷却技術。空冷比で大幅な低PUEと高密度実装を実現する。
NCBC (Neo Crypto Bank)	当社が構想する次世代金融ハブ。AIとブロックチェーンを基盤に、24時間365日稼働する常時オンチェーン金融サービスを提供する。
DAT (Digital Asset Treasury)	暗号資産トレジャリー。資金調達によりビットコイン等の暗号資産を取得・保有する事業。
DAL (Digital Asset Lending)	暗号資産レンディング。暗号資産の貸し手と借り手を仲介し、貸借料収益を得る事業。
DAM (Digital Asset Management)	暗号資産運用。保有・借入した暗号資産を取引所やパートナーを通じて運用し、運用収益を得る事業。
DAU (Digital Asset Utility)	暗号資産事業活用／決済。暗号資産・ステーブルコインを決済等の実用領域で活用する事業。
BTC (Bitcoin)	ビットコイン。最も流動性が高く長期間にわたり市場での信頼性が確立された代表的な暗号資産。当社のDATにおける主要保有対象。
ステーブルコイン	法定通貨等に価値を連動させた暗号資産。価格変動を抑制し、決済・送金・運用基盤としての活用が期待される。
オンチェーン金融	ブロックチェーン上で取引・決済・運用が完結する金融サービス。24時間365日稼働、即時決済、中間レイヤー圧縮等の特徴を持つ。
エージェントック決済	AIエージェント同士が自律的に価値交換・取引を行う決済形態。AIネイティブ経済活動を支える金融基盤として中期的に検討。
金商法 (金融商品取引法)	金融商品の取引に関する規制法。暗号資産は将来的に資金決済法から金商法への移行が議論・進行中、当社是对応・準備を進める。

用語集

用語	説明
ドル・コスト平均法	一定額を定期的に投資することで取得価格を平準化する手法。当社のBTC取得においてはこの方式により着実な積み上げを実施。
APY (Annual Percentage Yield)	年利回り（複利換算）。運用パフォーマンスを示す指標。
ワラント (新株予約権)	あらかじめ定められた価格で新株を取得できる権利。当社はBTC保有拡大等の資金調達手段として活用。
ATS (Applicant Tracking System)	採用支援システム。応募から採用に至るまでのプロセスを、ひとつのシステムで一元管理できるシステム。
DMP (Data Management Platform)	サイトアクセスログや、購買データ、広告出稿データ等の様々なデータの管理と、それらを活用して企業のマーケティング活動の最適化を図るためのプラットフォーム。
DSP (Demand Side Platform)	提携するメディアサイトやアドネットワーク等の多くの出稿面に、ユーザーの行動履歴や属性をもとに適切なターゲットへ希望の金額以下でリアルタイム入札（RTB=Real Time Bidding）を行える、お客様（広告主）が出稿する広告の効果を最大化する広告配信プラットフォーム。
HR	当社の開発したHRアドプラットフォームの「HR」とは、Human Resourcesの略。一般的には、人材の採用や開発、育成、評価、マネジメントなど、人材（人的資源）に関係する業務を指す。HRアドプラットフォームに関しては、人材採用を意味している。
pinpoint DMP	当社が独自開発したDMP。「らくらく連絡網」ならびに提携企業のユーザー情報を活用した広告配信やマーケティング調査が可能で、個人が特定できない情報でかつ暗号化されたデータが格納されている。
RTB (Real Time Bidding)	ユーザーのサイト閲覧（インプレッション）が発生するたびに瞬時にユーザー情報と最低入札価格等の広告枠情報を複数のDSPに渡し、最高価格で入札した広告を表示するデジタル広告枠オークションシステム。
SSP (Supply Side Platform)	ホームページやアプリ等メディア側の収益を最大化させるためのプラットフォーム。広告枠に対して最も高値を提示した広告が表示される。
アドエクスチェンジ (Ad exchange)	DSPとSSP及びアドネットワーク、さらにメディア社との広告在庫需要を取り持つプラットフォーム。
アドネットワーク (Ad network)	Webサイトやソーシャルメディア、ブログ等の広告配信可能なメディアを集めた広告ネットワーク。一括して広告を配信することができる。

用語集

用語	説明
運用型広告	膨大なデータを処理するプラットフォームにより、広告の最適化を自動的もしくは即時的に支援する広告手法のこと。検索連動広告や一部のアドネットワークが含まれるほか、DSP/アドエクスチェンジ/SSP等が典型例として挙げられる。
トレーディングデスク	広告主の代わりに、DSP等を用いたデジタル広告の運用を行う代行サービス。
1 st Party Data	自社で収集・保有しているデータ。
3 rd Party Data	自社以外の第三者が提供するデータ。
EARS (Eole AI Readiness Score)	当社独自のAI習熟度評価制度。組織のAI活用レベルをLv.1 (Trial) からLv.5 (Native) の5段階で評価する。

免責事項

本資料は、株式会社イオレ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として作成したものです。当社は、当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としておりますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

また、将来に関する記述が含まれている場合がございますが、実際の業績はさまざまなリスクや不確定要素に左右され、将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合がございます。したがって、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

本資料及びその記載内容につきまして、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が、その他の目的で公開または利用することはご遠慮ください。